



南フランスから岩手県に応援メッセージとして送られた絵画作品を元に、私たちは人形と陶器のブローチを作りました。

京都精華大学は、美術を勉強する大学です。私たちは、日本の伝統と豊かな自然の中で絵画や陶芸、写真などを学びました。私たちは、imagination（イマジネーション）というグループで展示会やコンサートを日本の色々な場所で開催してきました。今月号の「みらい新聞」では、私たちが南フランスへ送った、岩手県の様子や展示会の写真をおさめたアルバムを紹介します。その中でもひととき可愛いキャラクターたちが今回の主役です。



このアルバムは、応援メッセージをくれた南フランスの子供たちへ「ありがとう」の気持ちを込めて、岩手県のみなさんと一緒に制作しました。アルバムの右ページは南フランスの子供が描いたとっても可愛い絵画作品です。その前に立っている人形は、その絵を元にして作りました。赤くて丸いおなかが印象的です。

mirai
imagination



この子の体には、岩手県のラベンダーが入っています。人形のお腹を押すと、とってもいい香りが広がります。この子はアルバムのキーホルダーのようにして、ぶら下がっています。南フランスと言えば、ラベンダーが有名ですね。そうやって、岩手県と南フランスがラベンダーの香りで、繋がればいいなと思いました。



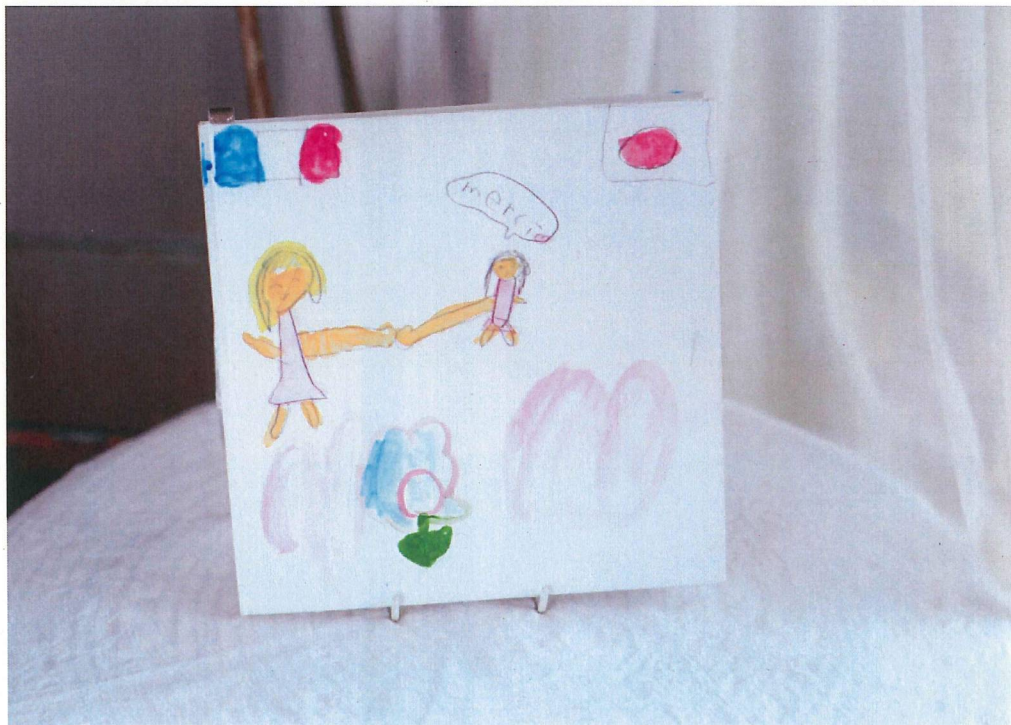
この絵は、大船渡の幼稚園に通う「はるちゃん」という女の子が描いたものです。
自分の姿とハロウィンのおばけの絵です。



はるちゃん人形も作りました。はるちゃん、フランスのお友だちへ「ボンジュール！」



宮沢賢治の童話を元に、ポストカードも作りました。



アルバムの表紙は、はるちゃん作の日本の子供とフランスの子供が手をつないでいる merci (メルシー) という作品。メルシーはフランス語で「ありがとう」という意味です。これから日本の子供たちが世界の子供たちと新しい「みらい」を築いていってほしいです。

みらい新聞 2013 年 5 月号

編集：宮崎敬三 (人形制作)・田中真吾 ブローチ/ポストカード制作：岡野真理絵